2024年7月吉日

産婦人科医会　会長殿

NPO法人子宮頸がんを考える市民の会

拝啓　時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、子宮頸がん予防において、HPVワクチンとHPV検査を用いる検診が、WHOが目指す今世紀中の子宮頸がん征圧という目標に大きな役割を果たすことが期待されています。本邦においては、残念ながら、HPVワクチンの積極的勧奨が長期間止められ、また、子宮頸がん検診には未だに細胞診が使われています。

しかし、厚労省の尽力もあり、HPVワクチンの定期接種に加え、キャッチアップが行われています。また、2024年4月からは子宮頸がん検診の指針が改正され、HPV検査をプライマリに使用する「HPV単独法」が推奨され、各自治体にHPV単独か細胞診単独かの選択が求められています。

「HPVワクチン導入後の子宮頸がん・頸部病変の発生に関するpopulation-based疫学研究」を主題とする研究班は、まさしく、このタイミングで自治体にするアンケート調査を行い、都度弊会と共にWEBで報告してきましたが、今回はそれらの報告とその後の状況の変化や関連する情報提供を行う機会を研究班に協力する形で設けたいと存じます。是非、皆様の御参加をお待ちしております。

日時　：2024年8月20日（火曜日）　16時～17時

場所　：オンライン（zoomウェビナーで配信）

発表者：今野良（自治医科大学附属さいたま医療センター産婦人科教授）

演題　：日本医療研究開発機構（AMED）　新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業

『全国自治体HPVワクチン・子宮頸がん検診実施状況アンケート調査報告会』

参加費：1,000円

【参考】

日本医療研究開発機構（AMED）　新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業研究課題名「既存ワクチンの有用性検証および今後の予防接種施策の向上に資する基礎的・臨床的・疫学的研究（研究代表者　菅秀　国立病院機構三重病院）」「HPVワクチン導入後の子宮頸がん・頸部病変の発生に関するpopulation-based疫学研究」研究分担者　今野良　自治医科大学附属さいたま医療センター産婦人科）

課題管理番号2022年度　22fk0108650s0201　2023年度　23fk0108650h0002　2024年度　24fk0108650s0203

申込方法：ご参加いただける場合は、8月19日(月)までに別紙を参考にpeatixでご登録下さい。

敬具

運営事務局：NPO法人子宮頸がんを考える市民の会　担当者：事務局　渡部（ワタナベ）

連絡先：東京都豊島区南大塚3-36-7南大塚T&Tビル6階　電話番号 03-6672-6926、watanabe@love49.org

日本医療研究開発機構（AMED） 新興・再興感染症に対する
革新的医薬品等開発推進研究事業

全国自治体HPVワクチン・子宮頸がん検診実施状況アンケート調査報告会 2024

子宮頸がん予防対策の最新動向報告



8.20 Tue
16:00-17:00

子宮頸がん予防
我が国の未来を探る

厚労省の尽力もあり、HPVワクチンの定期接種に加え、キャッチアップが行われています。また、2024年4月からは子宮頸がん検診の指針が改正され、HPV検査をプライマリに使用する「HPV単独法」が推奨され、各自治体にHPV単独か細胞診単独かの選択が求められています。

このオンラインイベントでは2022年度より全国自治体のアンケート調査をもとにそれらの報告とその後の状況の変化や関連する情報提供を行います。



発表者　今野良
自治医科大学附属さいたま医療センター
産婦人科教授

- **場所: オンラインウェビナー**
- **日時: 2024年8月20日 16:00~17:00**
- **参加費: 1,000円（事前登録が必要です）**
- **登録方法: 下記のウェブサイト・QRコードからお申し込み**

お申し込み　https://peatix.com/event/4054278